

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.172)

1. 豊田PCB処理事業部会について

7月11日(水)に平成30年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を開催しました。この部会は、4名の学識経験者で構成され、環境省、愛知県及び豊田市からもオブザーバーとしてご出席いただいています。

今回の部会では、部会のとりまとめをしていただく主査として京都大学大学院工学研究科の高岡教授が新たに選任されました。

豊田PCB処理事業所では、PCB油を含む変圧器やコンデンサーの他に、ドラム缶等に保管されている廃PCB油や、PCB廃棄物を保管していた容器(保管容器)の処理も進めております。

今回の事業部会では、操業開始から平成30年6月末までのPCB廃棄物処理の進捗状況を報告しました。



当事業所に登録していただいている変圧器やコンデンサーの処理は、85%以上が完了し、順調に進んでいます。しかし、廃PCB油については70%程度とやや遅れているため、現在は積極的に、この廃PCB油の処理に取り組んでいることを報告しました。併せて、平成30年度から34年度までの年度別処理計画についても報告しました。

委員の方々からは、当事業所のPCB廃棄物処理は順調に進んでいるとの評価をいただきました。

2. 交通安全街頭活動を行いました

7月11日(水)に豊田市の「夏の交通安全市民運動」の一環として行われた「全市一斉交通安全街頭活動」に参加しました。

豊田PCB処理事業所からはJESCO、運転会社の社員約30名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。



3. 全国安全週間の取り組み

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。

本年度は「新たな視点で見つめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」をスローガンに掲げ、7月1日(日)~7月7日(土)に実施されました。

豊田PCB処理事業所でも労働災害防止活動の大切さを再確認し、積極的に安全活動に取り組みました。

ここでは、具体的な活動内容を二つ紹介します。

◆安全大会

7月2日(月)に安全大会を開催しました。

この安全大会は、豊田PCB処理事業所で働く全従業員の安全意識の高揚を図ることを目的としています。

大会ではJESCO社長からのメッセージ紹介や事業所長及び運転会社社長が全従業員に対して安全訓話を行い、「安全の確保」の重要性について、さらに認識を深めました。



◆合同安全パトロール

7月6日(金)に合同安全パトロールを実施しました。

今回は、定期点検が終わったこともあり、JESCOと運転会社に加え、定期点検を行った工事会社も参加して、定期点検災害防止協議会の工事仕舞パトロールを兼ねて実施しました。

工事終了後の片づけの確認、職場の4S、設備の不安全状態、及び作業者の不安全行動等に焦点を当てて安全パトロールを行いました。

その他の安全活動としては、『職場4Sの日』を設け、保護具の清掃点検及び処理棟で使用する安全靴とその靴箱の清掃などを行い、事業所を挙げて不用品を処分するなど、職場の身の回りの4S活動に努めました。また、7月5日(木)には外部講師を招き、健康診断の結果を見ながら「生活習慣病予防⇒チェック!健康結果活用法」をテーマに、日頃の生活習慣の管理の大切さを学ぶ、健康教室を開催しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのピーちゃん

